



ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年10月1日

【2018年9月22日～2018年9月28日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは、対円で上昇した一方、対米ドルではおおむね横ばいでした。また、2年国債金利は低下しました。投資家のリスクセンチメントは引き続き良好で、ブラジル・レアルは対円では堅調に推移しました。なお、FRB(米国連邦準備制度理事会)が利上げを決定したものの、決定は市場予想通りで反応は限定的でした。

25日(現地、以下同様)には、前週に開催されたCOPOM(金融政策委員会)の議事録が公表されました。声明文と同様に、インフレ圧力が高まった際には緩和的な金融政策を解除する可能性が示されました。また、27日にはブラジル中央銀行がインフレレポートを公表しましたが、中央銀行のインフレ見通しはインフレターゲットの範囲内となっています。

大統領選挙に関しては、最新の世論調査が公表されました。引き続きボウソナロ氏とアダジ氏が高い支持を得ていますが、両者が決選投票に進んだ場合の支持率は調査会社によってまちまちとなっています。また、入院中のボウソナロ氏については、容体は良好で退院も近いと報じられています。

【2】今週の見通し

今週は、製造業PMI(購買担当者指数)、鉱工業生産やIPCAインフレ率といった経済指標の発表が予定されています。

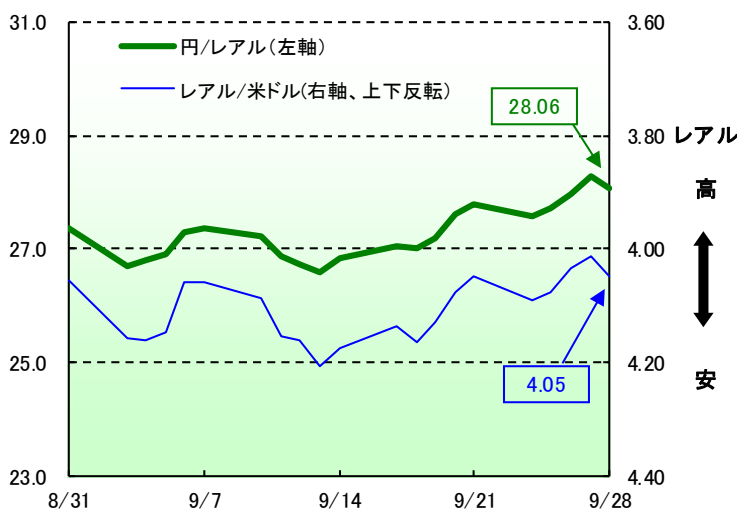
大統領選挙については、複数の調査会社が最新の世論調査を発表予定です。また、テレビ討論会も予定されています。第1回投票が10月7日に迫る中で、5社から発表される世論調査の結果は大きな注目を集めそうです。特に、ボウソナロ氏とアダジ氏が決選投票に進んだ場合の両者の支持率が市場では注目材料になると考えています。

【ブラジル・レアル 為替推移】

(2018年8月31日～2018年9月28日)

(円/レアル)

(レアル/米ドル)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【ブラジル 金利推移】

(2018年8月31日～2018年9月28日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

大和投資信託

Daiwa Asset Management